サンガカップ第４０回京都少年サッカー選手権大会

大　会　競　技　要　項

◇大会共通実施要項について

各大会共通実施要項については、各団に配布済みのハンドブック記載のとおりとする。

熟読し、確認しておくこと。

◆重要事項については、この大会共通実施要項に記載

◇今大会競技要項細目

①トーナメント方式とし、試合時間は２０分－５分－２０分、勝敗が決しない場合は、ＰＫ方式により次戦出場チームを決める。

ただし、決勝戦のみ５分－５分の延長を行い、なお勝敗が決しない場合は、ＰＫ方式により優勝チームを決める。３位決定戦において勝敗が決しない場合は、延長を行わず、ＰＫ方式により順位を決定する。

②ピッチサイズについては、タッチライン１０５ｍ×ゴールライン６８ｍとするが、試合会場により上記のピッチサイズをとれない場合はできるだけ近いサイズで行うこととする。ペナルティエリアは１６．５ｍ、ゴールエリア５．５ｍとする。また、センターサークルは９．１５ｍ、ペナルティスポットは１１ｍとする。任意マークは９．１５ｍとする。全試合フルピッチで実施致します。

なお、ゴールは一般用ゴールを使用する。

③シードチームは、第 41 回全日本少年サッカー大会京都府大会の上位４チームとする。

Ａシード：　**西京極　・　紫　光**

Ｂシード：　**長岡京ＳＳ　Ｇ　・　山田荘　Ａ**

④審判割り当てについては、ハンドブック記載の通りとする。（準々決勝戦からは、審判委員会にて行う）

⑤選手証の携帯を義務付ける。なお、１回戦より選手証の提示を求めるので、忘れないようにすること。

（選手証の提示なき場合は出場できない）（1 日１回のみ）

メンバー表と同様、試合開始の３０分前までに本部へ提出し、指示を受けてチェックを受けること。

⑥ハンドブック２１ページに警告退場に関わる運用が明記してあるので確認しておくこと。

なお、以下の人員にて今大会の規律委員会を構成する。

［　村井浩二・片岡弥之・平田研一・四方吉則・柳沼清美・前田健・伊澤昭典・安藤寿崇・藤井靖治　］

☆　落雷など危険の恐れがある場合は大会を中断し、速やかに安全な場所で待機すること。

☆　試合中における不慮の災害及び事故の発生に関しては、各チームにて処置すること。

☆　各団にて必ずスポーツ安全協会傷害保険に加入しておくこと。

☆　各チームは、会場の駐車事情を考慮し、できる限り台数を少なくして来場すること。

☆　各会場とも、ゴミは各チームで必ず持ち帰ること。

☆　会場設営・審判等、試合がスムーズに進行するよう協力すること。